財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

(1)会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日・平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2)固定資産の減価償却の方法

定率法で減価償却を実施している。

2、特定資産の保有　（単位:円）

名称	目的	積立限度額	積立期間及び算定根拠
周年行事引当資産	周年行事	5,000,000	増額の見込みなく10周年毎行事開催時に取り崩す予定
租税教育活動準備資金	租税教育	600,000	15年間・オリジナル教材の修正と更新作業

3、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。　（単位:円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
周年行事引当資産	2,500,000	0	0	2,500,000
租税教育活動準備資金	800,000	0	200,000	600,000
合計	3,300,000	0	200,000	3,100,000

4、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。　（単位:円）

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	5,000,000	0
特定資産				
周年行事引当資産	2,500,000	0	2,500,000	0
租税教育活動準備資金	600,000	0	600,000	0
合計	8,100,000	0	8,100,000	0

5、固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。　（単位:円）

科目	取得価格	累計額	当期減価償却	当期末残高	償却率%	耐用年数
器具備品(デスクパソコン)	176,880	0	73,700	103,180	0.500	4年
器具備品(ソファセット)	120,000	31,875	22,031	66,094	0.250	8年
器具備品(プロジェクター)	174,152	174,161	0	1	0.500	5年
器具備品(ノートパソコン)	122,040	122,039	0	1	0.500	5年
電話加入権	72,800	0	0	72,800	0.000	
合計	665,872	328,075	95,731	242,076		

6、補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。　（単位:円）

名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
全法連助成金	全法連	0	4,089,000	4,089,000	0	指定正味財産
その他補助金	全法連・県連	0	510,000	510,000	0	一般正味財産
合計		0	4,599,000	4,599,000	0	

7、指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。（単位:円）

内訳	金額
経常収益への振替額	
受取全法連助成金振替額	4,089,000